

「御霊の実④ 寛容」

I テモテ 1:12～17

2015.11.29 Alex Tan

1

概観

忍耐＝試練に遭っている時に必要な賜物。
寛容＝人と関わる時に必要な賜物。
パウロは、I コリント13:4で、「愛は寛容である」と説明している。

アウトライン

1. モーセの体験
2. イエス様の対応
3. パウロのあかし V12-V14
4. 適用 V15-V17

2

1. モーセの体験

- 1) 紅海(出エ14:11-12)、マラの水(15:23-24)、マナ(16:3)、マサとメリバの岩の水(17:3)。
- 2) 紅海からたった7週間で(19:1)、イスラエルは金の子牛の罪を犯した(32:1)。モーセの怒りは燃え上がったが(32:19)、イスラエルのためにとりなした(32:31-32)。
- 3) 主はご自分のことを「怒るのにおそく」と表現された(34:6-7)。原文では「鼻が長い」という意味。聖なる神様の愛と義の難しい関係を想像することができない。

3

2. イエス様の対応

イエス様は12弟子を愛された。特にペテロに対して寛容に対応された。

- ① 弟子たちに幽霊だと言われた(マルコ6:49)
- ② 弟子たちは火を呼び下そうとした(ルカ9:54-55)
- ③ ペテロは湖に沈んでしまった(マタイ14:31)
- ④ ペテロはイエス様をいさめた(マルコ8:32-33)
- ⑤ ペテロに赦しについて教えた(マタイ18:21-22)
- ⑥ 愛の眼差しでペテロを見守った(ルカ22:61)
- ⑦ 三度の否定を肯定に変えた(ヨハネ21:15-17)

4

3. パウロのあかし V12-V14

- 1) V12: この務めに任命する＝イエス様は強めてくださり、忠実な者として認めて下さる。御国のために器になれる。
- 2) V13: あわれみを受けた＝無知で知らないで犯してきた罪でも、イエス様は赦して下さい。十字架にしかこのようなあわれみがない。
- 3) V14: 満ちあふれるようになった＝受けたあわれみは、御恵みの始まりにすぎない。主にある信仰と愛と共に、あふれるまでに与えられる。

5

4. 適用 V15-V17

- ① イエス様の救いの恵みを受け入れる(V15)。パウロを変えることができたなら、きっとイエス様は自分を救い、変えて下さることを信じる。
- ② イエス様の救いの見本になる(V16)。イエス様から受けたあわれみ、イエス様が示して下さいた寛容を証する。
- ③ イエス様の救いの御業に感謝する(V17)。イエス様に感謝と賛美を捧げる人生。

6